

埼玉県への申請手続き開始

～田子山富士 修復工事～

県指定文化財修復のための工事資金として、埼玉県と志木市からの補助金を受けるため、志木市生涯学習課に仲立ち働きながら県への申請手続きを進めています。県から補助金対象工事項目の絞り込みや工法についての指導を戴いています。県と市から平成26年度予算の充当を受けるため、本年5月中の申請書提出を

目指し、現在鋭意努力中です。

工事費総額に対して県から50%、市から25%の補助金を受ける予定で、残り25%は寄付金(浄財)を集める必要があります。寄付金活動については別途理事会を開催し、内容を審議戴いたうえ実施して参りますので、皆様のご協力をお願い致します。(修復部会:清水良介)

《定期総会を開催》

4月21日、敷島神社社務所にて総会を開催しました。平成24年度の事業報告と決算報告、25年度の事業計画と予算が審議され、承認されました。さらに、修復事業の経過報告と今後の予定の説明があり、寄付金活動については別途理事会で審議することが確認されました。

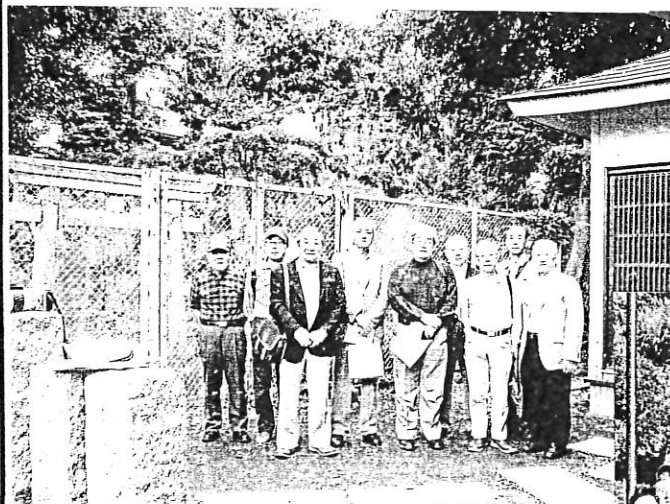
他所の富士塚見学

～長崎富士・江古田富士など～

昨年10月11日、国の指定文化財である「長崎富士(豊島区)」と「江古田富士(練馬区)」に8名で見学に行き、本年4月5日には「荒幡富士(所沢市)」と「中里富士(清瀬市)」に5名で見学に行きました。

地元保存会の方などから説明を戴き、文化財管理の運営方法や安全管理について大変参考になる見学会となりました。(研修部会:一ノ倉達也)

【下写真:長崎富士の前にて】



「草刈り・清掃」を実施

～今回は、6月16日を予定～

12月9日(日)9時より、18名の方々の参加のもと、田子山富士の草刈り・清掃を行いました。年末年始を前にして、お富士さんがサツパリ綺麗になりました。ご協力ありがとうございました。

今回は、サツキなどを大幅に刈込む予定ですので、多くの皆さまのご協力をお願いします。軍手・カマなどは用意してありますので、作業しやすい服装でお集まり下さい。(環境整備部会:小川勝則)

【下写真:草刈り・清掃の参加者】



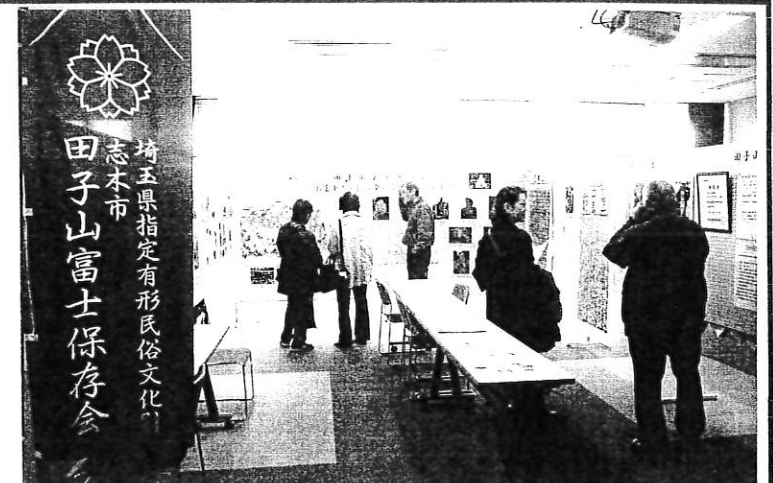
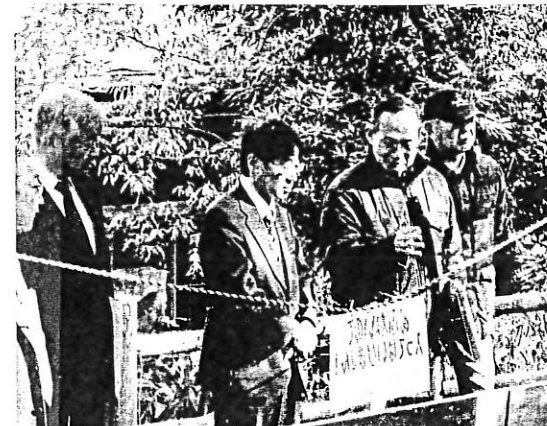
今後の日程

草取り・清掃	6月16日(日)	9時より
山開き	7月6日(土)	10時より
山仕舞い	8月21日(水)	15時より
草取り・清掃	11月24日(日)	9時より

市長・教育長が視察

11月29日、長沼市長、尾崎教育長、菊原教育政策部長が田子山富士塚を視察に來られました。当会は会長・副会長と井上・一ノ倉両常務理事が説明に当たり、貴重な文化財の内容と修復が必要になっている現状についてご理解を深めて戴きました。現在すでに志木市の力強い支援をいただきながら、県との話し合いを進めているところです。

【下写真:長沼市長(中央)と尾崎教育長(左)】

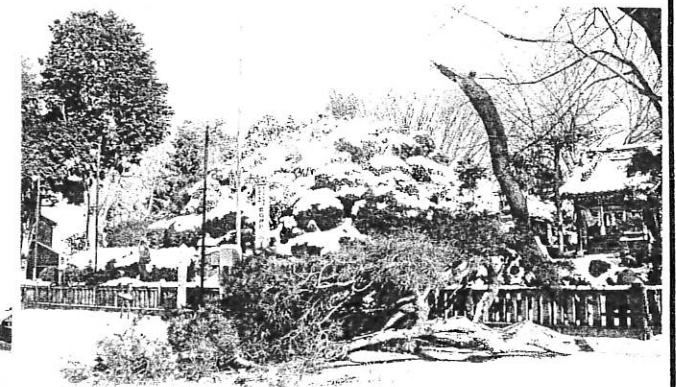


志木市民文化祭に参加

11月2～4日、いろは遊学館にて開催された「志木市民文化祭」に初めて参加し、パネル展示を行いました。多くの写真や石碑の拓本(井上國男先生から借用)を展示し、500人を超える方々に当会の活動内容についてのご理解を戴きました。(研修部会:一ノ倉達也)【上写真:第1研修室のパネル展示】

赤松も雪で倒れる

一昨年の秋に浅間下社前の黒松がマツクイムシにより急に枯れてしまいましたが、右手前の赤松も1月14日の大雪の重さに耐え切れず、倒れてしまいました。お富士さんが築造されて以来140年連れ添って来た夫婦の松でしたが、『雄松に先立たれて雌松も後を追いかけて行ってしまった』と惜しむ声が聞こえてきました。【下写真:雪で倒れた赤松】



高須家「富士講大幡」を拝見

2月23日いろは遊学館において、高須様のご好意により高須家所蔵の「富士講大幡」内覧会が行われました。4.6mの幡(ばん)の上に0.9mの御幣飾りが付いており、明治9年の箱書きがある立派なもので、参加者一同感動しながら拝見しました。

【下写真:「富士講大幡」内覧会の参加者】



中嶋信彰先生のご指導

11月24日、富士山文化研究会の中嶋信彰先生にお出でいただき、修復内容、修復方法、他所の富士塚の情報などについてご指導戴きました。

先生は埼玉県立児玉白楊高校の教師であると共に、日本有数の富士塚の研究者です。当日は高橋長次理事にもご参加頂き、登山道の修復内容を中心に、長時間にわたり熱心なご指導を戴きました。なお、中嶋先生にはその後、田子山富士の「立体モデル」を制作のうえ寄贈いただきました。